

令和6年度第1回 大阪市社会福祉審議会 地域福祉専門分科会（会議要旨）

日時：令和6年9月12日（木）

午後1時30分～午後3時15分

場所：大阪市役所屋上階 P1会議室

議 事

（1）第2期「大阪市地域福祉基本計画」の進捗状況について

資料1－1，1－2，1－3

（2）第3期「大阪市地域福祉基本計画」の評価方法について

資料2－1，2－2，2－3，2－4

（3）大阪市における包括的な支援体制について

資料3

【議事1】

- ・事務局から資料に沿って説明

（主な意見）

- ・各取組の確認とは別に、中核的な事業について評価するという区分けをしないと、地域福祉の評価をしづらいという問題点がある。
- ・A Bの評価について、判断基準が不明瞭であると感じるため、第3期計画では評価の軸をきちんと定めないと、評価として使うには難しい。
- ・地域福祉計画の評価は、事業をやりました、ではなく、どのように質が変わったのか、活動がどう変化したのか、何が作り上げられてきたのか、という観点で評価しないといけないのではないか。

【議事2】

- ・事務局から資料に沿って説明

（主な意見）

- ・目標値や目指す姿の明確化が可能であれば、そうすることで進み具合の確認ができ、評価しやすくなるので検討いただければと考える。
- ・進捗確認項目が多いので、大事なところを重点的に確認するよう絞り込みしてはどうか。
- ・地域福祉活動への参加の促進について、参加への関心がある方と参加経験のある方の割合にギャップがあり、それを縮めていくのがとても大事。
- ・自発的な住民活動について、実績として出てくる数値から活動現場の実態を把握することに限界があるため、どう評価するかが今後の課題。

【議事３】

- ・事務局から資料に沿って説明

(主な意見)

- ・包括的な支援体制の整備について、実践的な積み重ねの中で課題を整理し、進めていただければと思う。
- ・各区の特性に応じて住民とも連携しながらの展開が必要であるとする。